常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社
営業部専用 1、210
編集部 1、269

ダスターコート
洋品の ヤマカ
平2 電605

密閉して本坑への流入防ぐ
磐崎礦 左斜坑は遂に水没

磐崎坑の地下深く突然炭層を突き破つて流れこんだ濁流は毎分六百フイートという水足できよう十七日午前十一時ついに中部左一斜坑を水没した。このため同砿では本坑と同坑内をつなぐ電車坑に圧サ五米のコンクリート壁を設け密閉、放棄することになつた。

• 十四日午前一時三十分ごろ磐崎坑々口から三千米の地下深く湧出した出水は毎分六百フイトという勢いで流れこみ十六日午前二時ところには坑内（坑底から電車坑まで約四百五十米）を三百五十米の地点まで水没、十七日午前二時ころには一旦水足が引いたが同午前十一時には完全に坑内を水びたしにした。このため同砿では本坑のポン床にある百五十フイトに揚水能力のモーター二台、三百フイト一台をフルに動かし排水作業を行つているが、このままでは本坑に流れ込む恐れがあるため電車坑内コンクリート壁を設け密閉することになつたもの。原因については鉱山保安監督部平支部では調査に当つているが水脈につき当つたものらしい。

塩屋町東組 十五年間完納
平で優良納組を表彰

平市税務課では三十一年度優良納税貯蓄組合の表彰式を十九日午後一時から公会堂本館で挙行することになつた。表彰される者は十五年以上一名、十年以上四名、五年以上二十八名、特別賞一名、一年間完納組合二百三十名、合計二百六十四名となつている、表彰組合は次の通り。

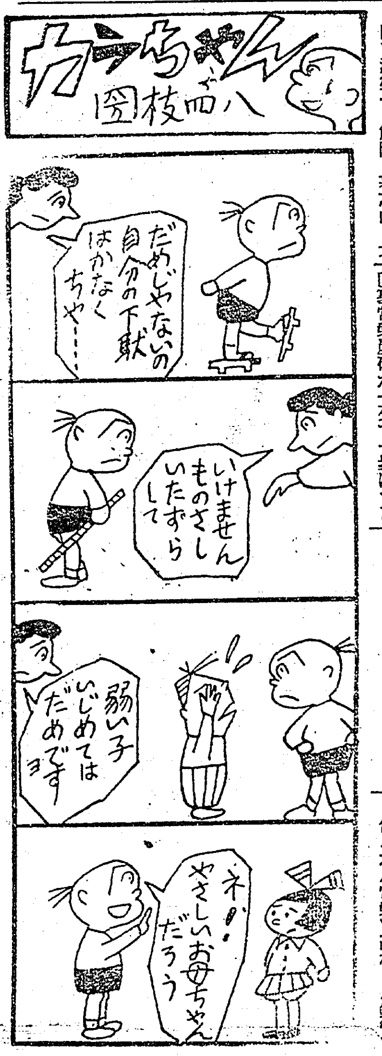
◆十五年以上＝豊間塩屋町東組

◆十年以上＝赤井窪田 新田町 月見町第二 豊間下町北組

◆五年以上＝五丁目第一 城山 八幡小路第一 新川町六南町第二班 柳町 十五丁目 平銀座 七福 鎌田町復興 月見町第一 下平窪笹ノ田 丸南 常住 中 神谷第十四 塩徳房内東 下片寄後山 八幡後組 塩屋町中町 八幡第三組 合磯 南街第二組 弁天 北白土第七 下大越宿下 下大越親和

◆特別賞＝高久支所

◆一年間完納組合＝（旧市内）長橋町第三部 同第五部 童子町 紺屋町 平銀座 田町西部 第六区第一組 宝成会 二丁目 南裡 同しん戊 二丁目 三丁目 中央通り 五丁目第一 クロス会 共栄 南町親和会 久保町 友和会 第十四区第九 同第六 同中組 睦 十五区第十五 胡摩沢第六 柳町納税親睦会 柳町 七福 番匠町 鎌田町ニコニコ 同東部第一 同第七班 十八区第五班 正月会 中央通 大工町第一 同第三 才槌小路 本丸 鎌田町 本丸第一 八幡小路第二 睦会 月見町第一 同第三 同第四 北目町第五 北目町 二十八区第三部 二十八区第四部 上平窪新道下道 上平窪酢釜 上平第三 中平岩間 同八田 同高橋 同細田 同杉内 同山屋 下平曲田 同四左エ門内 同鍛冶内 中塩沖 四ツ波第一 鯨岡 寮之内 大室第一 大室 協力 七丁目新和会 さつき会 長橋町第六部 （赤井地区）中道 駅前 深田 丸南 新生 恵比寿 不動堂 田中第一 御代内第一 日本祭 菜 日渡 深田第二 御代内第二 大黒 諏訪原第二 （夏井地区）山崎上部 同矢ノ目 同鼠内 菅波竹之内 上大越石淵 下大越福上 同中北 同親和 同宿下 同北ノ内 同堀川 同沢 滕間第一 第二 第三 第四 第五 第六 （高久地区）滝前 前西 中西 中東 丸和 乙亥 丑年 前原 後原第一 八幡後組 鶴ケ井 神谷作第一 第二 高塚 三島 恵比須内 塚崎 （草野地区）泉崎中島前 仲田 向原五号 駅前下 前原一号 駅前二号一組 草野第一 岸下 中島後組 下神谷上宿 中宿 内宿上ノ二 内宿下組第一 市営住宅第二 山の内 山の内福美 立場 赤沼 赤沼第一 原第一 沢中 亀下 沢帯下 原高野高原 原高野北原 馬目池田二号 北神谷御代 吉ノ作 鎌倉 鎌倉上組 鎌倉中組 鎌倉下組 水品下組 草野支所 草野中学校 草野郵便局 （豊間地区）塩屋町中組 八幡町第一組 同第二組 同南町 同七福 同昭和 柳町戊辰 原町南組 下町北組 下町北組 下町中組 下町明神 下町日町 兎渡路第一組 第二組 兎渡路 共和 合磯南町 合磯三見ケ浦 塩場 塩場第一 二 三組塩場 みどり 薄磯南町後組 薄磯中街第一組 薄磯中街上正 沼之内諏訪川向 沼之内新街 新町第二（神谷地区）中神谷第八 九 十 十三組 塩徳房内東 塩徳房内西 塩風内東 塩宮前 第一組 鎌田岸中組 鎌田小山下第一 二 鎌田石名坂 鎌田入組 下片寄沼作 下片寄後山 （飯野地区）上荒川第一 二組 上荒川昭生 下荒川第二組 下荒川川前二組 中山葉谷 上高久日片一 二 三組 上高久塩第一 二 三組 上高久神下一 二組 南白土八ツ坂 南白土入之内 南白土西中 南白土東中 南白土滝沢 北白土第二 四 五 六 七組 谷川瀬吉ノ作第一 二組 谷川瀬仲山町第一組 谷川瀬共益第一組 谷川瀬親和会。



常磐が三戦全勝
招待野球

常磐炭砿主催の山神祭野球大会第二日の十六日は浅貝球場で決勝戦が行われ、常磐炭砿が三戦全勝して優勝した。試合は七回まで二対二の対スコアーで駒を進めたが八回裏常磐炭砿が一死で一塁にランナーを送り、続く四番打者萱原がレフト場外に放つたツーランホームが決勝点となつたものである。なを最高殊勲選手は常磐の萱原、殊敢賞が秋山選手に贈られた。

鋼管	000110000	2
常磐	01100003×	5

（鋼管）七島、杉本—小山、福島（常磐）川田、上面—花方▽本塁打＝磯本、萱原（常磐）▽三塁打＝佐々木（常磐）高橋（鋼管）

下旬に崩れ安い
四、五、六月のお天氣

磐城市小名浜測候所では四、五、六月の長期天候予報を左の如く発表した、◇月降水量＝平年並かやや少なめ、中旬前半と中旬末、下旬なかば、は天気が崩れやすい、◇気温＝中旬はじめは一時寒気、その後は高温が多い、下旬は変動が多い。

◇五月雨量＝平年並か、やや多い◇気温＝月初に一時低温、前半高温か続き、後半は低温となる。◇六月雨量＝少なめでもあるが、後半梅雨前線により、かなり大雨がある。

二人が負傷
バイクで飛す

十六日午日午後九時ころ平市仲町地内交さ点で酒に酔つてバイクを運転して来た平市草野下神谷秋山伝重郎(四三)は通行中の平市堂の前無職佐藤悦子さん(三八)を跳ね飛ばし両手に全治一週間の打撲傷を与えた。また佐藤も転倒して右側頭部に二週間の裂傷を負つた。

運転手を切つた男捕る

平署は十六日磐城市江名町字北町無職吉田公男(三三)を傷害容疑で逮捕した。さる十一日午後六時十分ごろ平市豊間東渡路地内に停車中の常磐交通のバスに犬を連れて乗車しようとしたのを運転手の栗城徹さん(三八)が注意したところ栗城さんを蹴つたうえ車掌本田米子さん(三)の大たい部をけつて逃げたが、再び三輪車で追いかけて乗車持つていたカミソリで栗城さんの顔面に切り付けて全治二週間の傷を負わせたもの。

詐欺で捕る
内郷の古物商

平署は十六日内郷市御厩字上宿古物商買出業鈴木高夫(三)を詐欺容疑で逮捕した。昨年十一ころ平市尼子町古物商山本トクエさん方から古物の買い出し資金として三千円を詐取したのをはじめ本年三月上旬四倉町高仲町古物商高根次与作さん方から同様手段で現金千二百円、更に三月十七日平市仲町古物商武藤一義さん方から千六百円合計五千八百円相当を詐欺したもので、外に余罪ある模様で追求している。

機動車に轢かれて幼児死亡
四倉セメント

十六日午後五時十五分ごろ磐城セメント四倉工場内で幼児がスーローに走つている機動車（トロッコ）に乗ろうとしてはねとばされ両足轢断四倉町木村医院に担ぎ込まれ手当をしたが、同日午後十一時ころ死亡した。事故が起り四倉署部補派出所では機動車運転手新妻違正(四三)を業務上過失致死の疑いで取り調べている。

銘菓 平凡

盛況御礼
毎度御引立を頂き誠に有難度う御座居ます。
此の度磐城市定西「セルフ・サービスの店松月」支店開設にあたりまして四月十四日から三日間の開店感謝のサービスをさせて頂きました。
連日お客様より絶大なる御支援並に御引立を頂き盛況を得ました事は店主、店員一同衷心より厚く御礼申上げます。
なお三日間の盛況にて不行届の点も御座居ましたかと存じますが、何卒今後共変らぬ御愛顧御引立の程お願い申上げます
昭和三十二年四月十七日
店主敬白
セルフ・サービスの店
松月
磐城市定西（電）九七四
平餅本舗 松月堂 平市銀座 電二〇六・二二〇六
お食事と喫茶 松月の喫茶 平市三田小路 電一一八八

新装開店
☆☆☆☆ ☆☆☆☆
此度一丁目（仙台屋呉服店）となりに皆様に親しまれる袋物の店を開店いたしました
何卒一度お立寄りの上御指導と御利用の程をお待ち申上げます
袋物専門店
見芳屋
平市一丁目（仙台屋呉服店隣）

印刷
▽職種＝機械工▽文選工（男女を問わず）▽製本工各一名
▽委細面談来社乞う
平市一丁目七電一〇九 渡辺印刷所

花より団子
お花見折詰 仕出し
富士独特の江戸前寿司
「酒持込宴会大歓迎」
◆出前迅速◆
富士食堂
聚楽館前 電五六一・六七七

キリンしか知らぬビール通
新発売のアサヒゴールドビールはフランス風のホツプと香味が素晴らしく東都ではなかなか手に入らぬそうですがキリン党の多い平ではさっぱり。
○大ビール（おつまみ付）一三〇円
○中〃（〃）一一〇円
○黒ビール（〃）八〇円
木曜サービス細切昆布百匁三〇円
越
藤越 小名浜 平市

キリン生ビールを始めました
売出し期間中一週間オードブル（前菜）をサービス致します
居酒屋 まると
平市中央通 電1820

笛の詩 46

絵と文　谷田部風太郎

笛の章 15

〃志村が帰える〃それを聞いた今、啓介は、ついぞ考えなかつた志村の存在と云うものを、つくづくと考えて見るのだつた。若しあの時。志村十郎が来なかつたら、啓介は今どうしていたであろう。

（ああ、あれ程信じていた女なのに……。

やはり、どんな果へのがれたつて、畢竟人間は人間なのだ。美しい仮面をはげば、すべてがその裏に、憎悪すべきみにくさを宿しているのだ。）

美佐子の手紙を引きさいて、浜辺に立つていた時の啓介は、思いがけない苦しいものを喰わせられた後の様に、栄子を見下げ、憎んだのだつたが、そして啓介は、ふと、過去の初々しい美佐子の連想にふけつて、その楽しい面影をキャンバスに描こうとしていたのだ。その時志村が現われた。そして栄子が再び啓介の心に宿つたのだつた。

（志村がいなかつたら、恐らく俺は、あの栄子の言葉を信じなかつたろうに。）

啓介は、そう思い出すのである。愛情心理の美しさと云うものを、あの時、志村のいる啓介には、不思議に理解出来たのである。何の遠慮もなく、何一つ気にもしないで、打ちつける様に云う志村の言葉が、いつまでも啓介の胃袋にたまつて、なかなか消化する事が出来ずに腹立たしさを感じたが、しかし、そうかと云つてそれを志村へ向ける事はどうしても出来なかつた捨て場のない腹立たしさは、唯自分へのものになつてしまうのが常であつた。

（或いは俺は間違つているのかも知れない。）此の頃の啓介はそんな事も考える様になつたのである。しかし、その後にすぐ（何を云うのだ西島啓介。お前はお前の感覚で、あくまで人間の真実を描け。ほろびるな。お前を助けて行くものは、お前一人だ。）

と、そう叫ぶのである。そんな時、きまつて天心爛漫な志村の童顔が何故か瞼の底をかすめる

「俺はな、ここえ来て、今まで考えた事のない三つの面白いものを見たよ。一つはお前の複雑な恋愛心理だ。俺は、恋などと言うものを、まるで平凡なものに考えていた。今でもそうだが——しかしお前の場合は実に重大なもんだな。恋と云うものがこんなに人の心を左右するのかと思うと恐ろしくなつた。あの絵が、それを物語つているからなア。

しわくちやのレインコートを着込んだ志村を送つて、波止場の方へ啓介は歩いて行つた。

「おい、志村。又、是非来いよ。」

「それは約束出来ん。貧乏で気まぐれ者だからなア……。」

「……。」

啓介は、ぐつと別れの淋しさを感じた。

しわくちやのレインコートに、細い雨の一粒一粒がしみ込んで行く志村の肩に、じつと視線を注ぎながら啓介は歩いていた。

（つづく）

ラジオ日東

今晩のラジオ

◆NHK（第一）

- 六、〇〇 子供の時間
- 六、二五 スポーツ便り
- 六、三〇 一丁目一番地
- 六、四五 今日の横顔
- 七、一五 録音ニュース
- 七、三〇 お笑い職業案内
- 八、〇〇 放送演芸会
- 九、〇五 ニュース解説
- 九、一五 連続浪曲
- 九、三〇 ラスターの独唱会
- 一〇、一五 時の動き
- 一〇、三〇 虹の劇場

◆ラジオ福島

- 六、〇五 トニーの童話
- 六、一五 赤胴鈴之助
- 六、四〇 永遠に答えず
- 六、五〇 音楽の小箱
- 七、一〇 録音ニュース
- 七、一五 人情夜話
- 七、三〇 演芸アマカラ亭
- 八、〇〇 素人物まねコンクール
- 八、三〇 浪曲
- 八、〇五 名流小唄を集めて
- 九、〇〇 明色アベック歌合戦
- 九、三〇 貴方がえらんだ
- 今週の花形歌手
- 一〇、〇五 名作アルバム
- 一〇、二〇 夜の案内
- 一〇、二五 夜の調べ

パンは開花亭

今晩の映画

▼平文化ニュース　二十日マデ
ニュース
マンガ
北極ものがたり

▼東映劇場　廿三日マデ
七、一〇 不良女学生
八、四五 第十三号さん橋

▼世界館　廿三日マデ
七、〇三 まだら蛇
八、三六 夜の河

▼平館　廿三日マデ
六、五五 愛ちやんはお嫁に
八、三五 花は嘆かず

▼民劇　十九日マデ
六、三〇 美貌の都
八、一七 雨情

▼ひかり座　十七日マデ
六、一〇 羊をまもる犬
鹿皮服の男
スイス
八、三〇 わんわん物語

▼聚楽館　廿二日マデ
七、〇〇 水田地帯
八、五五 ならず者部隊

特別奉仕料金 55円

初めて許した男なればこそ火のような情熱を燃し続ける野性の娘!!

河の女

ソフィア・ローレン
リック・バツタリア
ジエラルド・ソルダーティ

總天然色

コロンビア映畫

18日より

恋にあこがれる評判娘が初めて会つたたくましい青年と燃えて結ばれた年に一度のピクニツク！

ピクニック

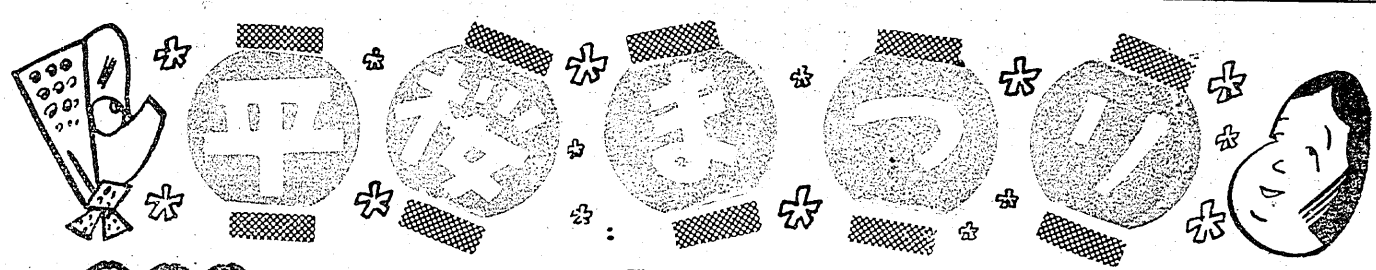
ウイリアム・ホールデン
キム・ノヴアク
ロザリンド・ラツセル

コロンビア映畫

picnic

總天然色

CINEMASCOPE　ひかり座


平桜まつり

十七日　芸妓舞踊
十八日　芸妓舞踊
十七日十八日　子鍬倉神社祭典

十七日　芸妓舞踊
十八日　芸妓舞踊
十七日十八日　子鍬倉神社祭典

祝平桜まつり…
平市料亭組合
味郷
平市三田小路　電七三六番

祝平桜まつり…
平市料亭組合
大貞
平市田町　電四一三・一九九三番

祝平桜まつり…
平市料亭組合
八千代
平市田町　電三七五番

祝平桜まつり…
平市料亭組合
小富
平市南町　電二〇二番

祝平櫻まつり…
平市料亭組合
湖月
平市田町　電二二二・一〇七三番

祝平桜まつり…
平市料亭組合
志の婦
平市仲町　電二八〇番

祝平櫻まつり…
平市料亭組合
谷口
平市二丁目　電八・八八八番

祝平櫻まつり…
平市料亭組合
金みよし
平市田町　電四一九番